

目次

はじめに

プロローグ 武士を描く・武士が書く

I章 戦いのかたち

馬に乗り弓を射る

打物をふるう

鉄炮の伝来と普及

由緒から実戦へ

手柄の認定

コラム 腹が減っては戦はできぬ

II章 武家のひろがり

競い結ぶ

家のなりたち

競合と連帯

武家の証し

屋敷のくらし

地頭の屋敷

領主の城館

城下の屋敷

コラム 佐倉藩の武家屋敷―天保期の規制と屋敷替―

武家のたしなみ

系譜と由緒

武家の流れ

牢人あらわる

武士と百姓のあいだ

III章 武士のイメージと軍学者

故実を伝える

82 81 78 76 70 70 64 62 60 57 54 54 50 48 44 44 43 42 38 35 29 20 12 11 7 2

イメージをあらわす	85
川中島合戦を描く錦絵	96
コラム 錦絵に見る徳川將軍のイメージ	100

IV章 文武両道

武士のおつとめ	102
城請け取り・武家の財―近世の城、その構成要素	102
火事場見廻役	107
江戸城門番	110
武家の書札礼「曾我流」と蟻川家	114
武士としての学と楽	118
寛政改革と湯島聖堂	118
寛政改革と寄合肝煎	123
川路聖謨	128
学と楽	132
戦士ふたたび	137
黒船来航と鹿狩り	137
西洋軍備	144
コラム ベリー来航と攘夷祈願	148
兵になる農	149
コラム 新選組と農兵	152
箱館戦争	154
エピソード 武士の消滅と新しい「武士道」	156
新しい武士身分	156
武士団の北海道移住と土族復籍	161
新しい「武士道」	166
文献資料積文	171
展示資料目録	202
参考文献	209
協力者・展示プロジェクト委員	213